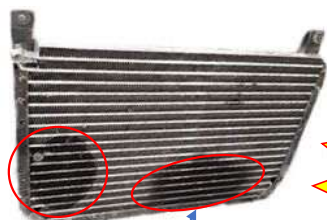


A/Cコンプレッサー 交換時 注意事項

A/Cコンプレッサーは、他部品に起因する故障が非常に多い商品です。
A/Cコンプレッサー交換の際は下記部品の**セット交換を強く推奨**いたします。

1. コンデンサー（10年・10万キロ目安に交換）



洗浄不可
要交換！

エアコンガス漏れによるしみ

フィンの目詰まりによる冷却不足

内部の目詰まりによる高圧異常

2. リキッドタンク(チューブ)



乾燥剤に付着した
不純物

洗浄不可
要交換！

水分により多量の
錆が発生



ダイハツ車

リキッドチューブ
内にフィルター有
必ず詰まります！

3. エキスパンションバルブ



洗浄不可
要交換！

目詰まり発生現品
(黒ずんでいる)

一度詰まったら再利用不可

劣化により開き放しになる事も。

4. 各接続部の漏れ点検



Oリング不良によるエアコンガス漏れ。
ガス・オイル不足で潤滑不良となりロック・
焼き付きの原因となります。

5. コンデンサーファンモータの点検



動いていても安心できません！
元気に動いているかがポイント
です。動きが鈍い場合、コンデ
ンサーの冷却不良により、異常
高圧となり、マグネットクラッ
チが焼き付きます。

6. 弊社製品はコンプレッサーオイル注入済！！



お車1台分の規定量のオイル
が封入。
継ぎ足し厳禁！
粗悪な添加剤の使用禁止！
蛍光剤によるオイル過多注
意！

7. ベルト張力に注意

ベルトの張り過ぎは、軸ブレによる異音や、ガス漏れの原因となります。

ベルトの緩みはクラッチ滑りによる、異音や圧不良、焼き付きの原因となります。

仙台日新自動車株式会社
☎:022-232-6491

ガスのオーバーチャージにご注意！

重要

製品を長くご使用いただくために、コンプレッサー交換の際には以下の点をご確認ください。

取付時

 **ガスは規定量より少なく入れてください。**

* サイクル内にオイルが残存している場合、規定量のガスはオーバーチャージとなります。

- ・ 真空ポンプによる真空引きを行ってください（30分以上）
- ・ ガス缶を温水にて気化させ、ゆっくり入れてください。（逆さま厳禁）
- ・ 特に全自動ガスチャージ機は過充填気味になりますのでご注意ください。

* オーバーチャージはクレームの主な原因のひとつです。

取付後

 **高圧・低圧ゲージの圧力が外気温に対して適正でなかった場合
焼きつき・異音の原因になります。**

* 気温30℃に対して高圧1.6Mpa以上は要注意です。（回転数1500～1800rpm）

* 気温の低い時期のオーバーチャージは初夏の故障の原因となります。

仙台日新自動車株式会社

☎:022-232-6491

リキッドパイプの交換は必須です。

ダイハツ車が対象

※2002年以降の全ダイハツ車が対象。
(他、OEMを含む)



特に過走行車両や
ハイゼットには
ご注意ください。



コンデンサーとエキスパンション
バルブの間をつないでいるのが
リキッドパイプです。



フィルターが内蔵されている為、
単体での交換が出来ない品番
です。その為、リキッドパイプAssy
での交換が必要となります。

未交換による

トラブル事例

異常高圧

フィルターが目詰まりし
プレッシャースイッチが作動する。

焼付き

目詰まりによるオイルリターン不足
や不純物混入によりコンプレッサー
本体がロックする。

作動不良

ON/OFFを繰り返すようになり、
作動が安定しない。



一部優良新品にて設定があります。
詳しくはお問い合わせください。

仙台日新自動車株式会社
☎:022-232-6491